

# 競技注意事項

1, 本大会は、2025 年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則ならびに競技注意事項により実施する。

## 2, ウォーミングアップについて

- (1) 引率責任者及びチーム関係者（保護者）付き添いのもと、安全に留意して行う。
- (2) 朝の練習は競技開始 20 分前まで本競技場を使用しウォーミングアップを行うことができる。
- (3) 本大会、競技中のウォーミングアップは、サブグラウンドを使用すること。
- (4) 室内練習場は使用禁止とする。

## 3, 競技者の招集について

- (1) 招集所は第 4 ゲート付近の倉庫出入口（外側）に設ける。
- (2) 招集の手順
  - ①招集完了時刻の 15 分前から係が名前を呼び出し、アスリートビブスを確認を行う。  
※招集所へはユニホームを着用。（アスリートビブスを安全ピンで取り付けておく）  
※携帯電話や通信機器（通信機能のあるスマートウォッチを含む）、及び音楽再生機器等は持ち込めない。
  - ②招集完了時刻に受付を済ませていない場合は棄権と判断する。（受付は本人が行う）
  - ③競技を棄権する場合は、学校またはクラブチームの監督が「欠場届」を当該競技の招集開始時刻までに招集所に提出する。用紙は TIC（総合受付）に用意したもの、または県中体連 HP からダウンロードしたものを使用する。
  - ④点呼を受けた競技者は、競技役員の誘導に従って入場する。

## 4, 競技および競技運営について

- (1) 事故防止のため短距離走では、ゴール後も自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走ること。
- (2)トラック競技に出場する競技者は腰ゼッケンを受け取り各自で取り付ける。返却はゴール後に各自で取り外し回収かごに入れる。
- (3) フィールド競技の跳躍・投てき練習は、競技場所へ移動後、競技役員の指示によって行う。
- (4) 3000 m 競技では通し番号を使用するため、TIC（総合受付）で受け付ける。
- (5) リレー競技について
  - ①リレーオーダー用紙は当日招集所で受け取ること。  
※県中体連ホームページからダウンロード使用可。
  - ②リレーオーダーは、1 組目の招集完了時刻 60 分前までに所定の用紙に正確に記入し、監督が署名の上、競技者係に提出する。
  - ③リレーオーダーは決勝においても同様に提出すること。
  - ④チームの出場者は同一系のユニホーム（メンバーのシャツ・パンツ）は同色・同デザインを着用すること。
- (6) 2 種目同時に兼ねて出場する競技者は、所定の用紙（2 種目同時届用紙）を招集開始時刻までに、招集所へ提出すること。競技中、他の種目と兼ねて出場する場合は、審判員に申し出て競技の進行に支障のないようにする。
- (7) 走幅跳び、三段跳び、砲丸投げ、ジャベリックスローに於いて参加者多数の場合、カットラインを設けることがある。
- (8) 棒高跳の競技者は、支柱移動申請用紙を現地で棒高跳び審判員に提出する。なお、その位置を変更したいときは、棒高跳び審判員に口頭で申し出る。
- (9) 審判長が認めた場合、帽子・靴・衣類・水・氷などを該当審判員を通して渡すことができる。
- (10) フィールド競技は九州大会派遣のための決定戦を行う場合がある。
- (11) バー（走高跳・棒高跳び）の上げ方について

	練習	1 回	2 回	3 回	4 回	5 回	6 回	7 回	8 回	9 回	10 回	11 回
男子走高跳	1.40	1.45	1.50	1.55	1.60	1.65	1.70	1.73	1.76	1.79	1.82	1.85
女子走高跳	1.20	1.25	1.30	1.35	1.40	1.45	1.48	1.51	1.54	1.57	1.60	1.63
棒高跳	2.00 3.00	2.00	2.10	2.20	2.30	2.40	2.50	2.60	2.70	2.80	2.90	3.00

※同成績の場合に於ける第 1 位決定のためのバーの上げは追加試技 1 回した後に次の様にする。

○走高跳 男女共 2 cm

○棒高跳 5 cm

## 5, 用器具について

- (1) 競技に使用する用器具は、すべて主催者が用意したものを使用しなければならない。但し、棒高跳用ポールは、個人所有物の使用を認める。
- (2) 跳躍、投てき競技の助走に使用するマークは主催者が用意する。
- (3) リレーのマーカーについては主催者が準備する。

## 6. 競技用スパイクピン・シューズ底の厚さについて

- (1) 本競技場は全天候舗装であり、スパイクピンの長さは以下に定める。
    - ①トラック競技、走幅跳、三段跳（9mm以下）
    - ②走高跳（12mm以下）
  - (2) シューズの靴底の厚さは以下に記する厚さを超えてはならない。
    - ①全てのトラック種目／20mm
    - ②全てのフィールド種目／20mm
- ※競技規則 TR5.2 及び競技用靴に関する規程を適用する。

## 7. ハードルについての規程

種目	高さ	スタートラインから第1ハードルまで	ハードル間	最後のハードルからフィニッシュラインまで	ハードルの数
男 110 mH	91.4 cm	13.72 m	9.14 m	14.02 m	10
男 100 mH	84.0 cm	13.00 m	8.50 m	10.50 m	10
女 100 mH	76.2 cm	13.00 m	8.00 m	15.00 m	10
女 80 mH	76.2 cm	12.00 m	7.50 m	15.50 m	8

## 8. 選手変更について

- (1) 前日までの競技者変更は、事故や体調不良があった場合のみとする。大会前日の午前11時までに補員名簿から行い、地区専門部長へ報告を行う。地域クラブ活動は県中体連陸上専門部長へ報告を行う。  
※競技者同士の交換とし、同じ競技者が2種目にエントリーしている場合、1種目のみの交換は不可。（あくまでも競技者の交換となる）
- (2) 当日の競技者変更も事故や体調不良があった場合のみとし、午前8時までに本部に申し出ること。

## 9. 表彰について

- (1) 決勝終了後、1～3位に入賞した選手は、競技役員誘導に従い表彰者控え場所へ移動する。
- (2) 各種目入賞者は、体育着、チーム T シャツ、(上着ユニホーム不可)・アップシューズで表彰に臨むこと。

## 10. その他

- (1) 室内1階スタンド下通路及び雨天練習場付近の選手控場所設置は禁止する。
- (2) 競技場内に商社名、商品名のついた物を持ち込むことはできない。詳細は「競技会における広告及び展示物に関する規程」に準ずる。
- (3) 競技の結果または競技実施に関する抗議は競技規則 TR8 に従って定められた時間内に監督が TIC（担当総務員）に申し出ること。言い渡された裁定に不服の場合は、預託金（1万円）を添え申し出る。（その種目の結果が正式に発表されてから、予選15分以内、決勝30分以内本部に申し出る。それ以外は一切受付ない。）
- (4) トラック競技において選手の荷物はゴール付近（第1ゲート）に運搬する。
- (5) 応急処置を必要とする場合は、本部待機の救護担当まで連絡すること。
- (6) 競技の観戦、応援はスタンドで行うこと。（競技場内に立ち入らない）
- (7) 競技者のユニホームは、陸上競技用か学校指定の体育着とし、他競技のユニホームは認めない。
- (8) 競技場内で撮影された競技写真の著作権については、大会主催者に帰属するものとする。SNS等に無断で配信する行為は厳禁。法的に訴える場合もある。
- (9) 競技者の個人情報保護の観点から、写真・ビデオ等の撮影については、以下の事項を禁止とする。
  - ①競技者の保護者および本人の同意のないもの。
  - ②撮影禁止区域での撮影。
  - ③競技者がスターティングブロック（クラウチングスタート時）の前後またはスタート付近の撮影。